



経歴

平成7年4月	郵政省採用	平成18年7月	在マレーシア日本国大使館一等書記官
7月	同 貯金局経営企画課	平成21年7月	総務省総合通信基盤局電気通信事業部 データ通信課課長補佐
平成9年7月	米国留学(マイアミ大学)	平成23年9月	同 中国総合通信局放送部長
平成10年6月	郵政省郵務局経営企画課	平成24年6月	松下国務大臣秘書官事務取扱
平成11年7月	内閣官房内閣内政審議室課長補佐	平成24年10月	総務省情報流通行政局 情報流通振興課企画官
平成13年7月	総務省総合通信基盤局電波部 移動通信課無線局検査官	平成25年7月	現職
平成14年8月	同 総合通信基盤局電波部 電波環境課電波監視官		
平成15年9月	同 大臣官房秘書課秘書専門官 (平沢政務官付・小西政務官付)		
平成16年9月	同 郵政行政局貯金企画課課長補佐		

ICTで世の中を変えたいあなたに

情報流通行政局情報流通振興課情報流通高度化推進室長

田邊 光男

Mitsuo Tanabe

ゆく河のながれは絶えずして、しかもこの水にあらず。よどみに浮かぶ泡沫は、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる例なし。ご存知の方も多いとは思いますが、鴨長明の方丈記の書き出しです。方丈記は、この世の無常とはかなさを綴ったものです。

私自身は、方丈記の説く無常観に共感を覚え、オマルハイヤームやショーベンハウエルなどのペシミスティックなものの考え方も若い頃には感銘を受けました。しかし私自身極々普通の人間ですので、「自分がいても世の中何も変わらない、世の中は転々変転していくもので、人の力ではどうにもならない」とまで悟っていません。やはり、「世の中にこんな痕跡を残した」と、自分の存在することの意義を肌身で感じていたいと思いますし、自分がやった結果を残したいという欲求があります。

このような意味での自己実現については、色々な職業いざでも見いだせると思います。公務員という職業は、まさにそれを体現できるものだと思います。ルールや制度の運用といういわば土俵を如何に作り上げるかという観点から結果を出していくことができるからです。確かに、相撲は力士が主役ですが、土俵が真四角であつたらどうでしょうか？角に追い詰められたら左右に逃げられず、簡単に押し出しが決まってしまう、つまらないですよ。ルールや制度の運用は大事であり、それを少し変えるだけで、その上で行われるゲームの様相は様変わりしてしまいます。この意味で我々公務員の仕事は、自分が何かをや

った、何か社会において結果を残したという実感を持つことができるものだと思います。

このように言うと、「で、あなたは何を成し遂げたのか？あなたがいないからといって何がかわるのか？」というような、楽しい飲み会の酔いもいっぺんに醒めてしまうような「ぐっ」と来る問いを招いてしまいそうですが、私が、今、どのようなことをやっているのか、簡単にご紹介いたします。

私は、現在、情報流通行政局情報流通高度化推進室長という役職に就いています。といっても、これでは何をやっているのかわからないと思いますが、医療分野での情報通信技術（ICT）の利活用やテレワークの推進などが業務です。最近では、例えば、医療分野から派生し、超高齢社会を如何にICTを活用することにより、快適かつ活性化するかということに取り組んでいます。

みなさんもお医者様にかかったことはあると思います。中には、かかりつけのお医者様では難しく、地域の中の大きな病院を紹介されて行かれた方もあると思います。その際、かかりつけのお医者様が、大きな病院でどのような治療が行われたかを知らない場合はどうなるでしょうか？こうした場合、かかりつけのお医者様や地域の大きな病院がネットワークで結ばれて、患者さんの情報を共有でき

ればどうでしょうか？それぞれの病院での検査や治療結果を踏まえ、より効果的な適切な医療サービスが受けられるようになると思っています。そのために、ICTでどのような貢献ができるのか？厚生労働省や現場の医療機関の皆様などとお話をしながら、ICTの活用方を検討しています。

これはほんの一例ですが、医療分野でのICTの利活用、それによる質の高い医療サービスの実現、健康寿命の延伸などの結果を出すべく努力をしているところです。例えば、今述べた医療情報を連携するネットワークの構築に向けて、病院などのフィールドでデータのやりとりを行い、ネットワークのあり方、効果を検証する実証事業を行っています。実証の結果を、実際に広げていくことは、とても大きな課題であり、未だ、「あなたは何を成し遂げたのか」との問いに対してははっきり答えられる境地には至っていませんが、徐々にでも、着実に前に進んでいます。これからも、胸を張ってこうした問いに答えられるよう頑張っていこう、そう思っています。

公務員に、そして総務省の業務に関心を持った皆さんと、是非「世の中にこんな痕跡を残した」と実感できる成果を共に創り上げていただければ幸いです。



会議での風景



経歴

平成11年4月	郵政省採用
	同 放送行政局地上放送課
平成13年7月	総務省情報通信政策局情報通信利用促進課
平成14年8月	同 情報通信政策局放送政策課政策係長
平成16年7月	同 情報通信政策局衛星放送課振興係長(育休取得)
平成18年8月	同 情報通信政策局情報流通振興課情報流通高度化推進室課長補佐
平成19年7月	同 情報流通行政局情報通信作品振興課課長補佐
平成21年8月	同 総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐(育休取得)
平成22年4月	同 総合通信基盤局総務課課長補佐
平成23年7月	同 情報通信国際戦略局情報通信政策課課長補佐
平成24年8月	現職

情報流通行政局衛星・地域放送課地域放送推進室課長補佐

飯村 由香理

Yukari Iimura

放送の未来のために

私は現在、地上デジタル放送化(地デジ化)後のこれからの放送を考える課題の一つとして、「放送サービスの高度化」に取り組んでいます。

デジタル化が完了し、今後は、超高精細な映像提供を可能とするスーパーハイビジョン(4K・8K)を世界に先駆けて展開することで、我が国の国際競争力強化につなげていくことや、放送を活用して、いかに便利な暮らしを提供するか、ユーザーニーズに対応していくのかという視点が重要です。

テレビの新しい楽しみ方を実現する次世代スマートテレビは、災害時に安全確保に役立つ情報を素早く入手したり、離れた家族とも同じ番組の感想を共有したり、自分が好きな時に好きな場面から放送を視聴したりできるようになります。

4K・8Kも単にきれいな映像というだけではなく、その高精細な映像を活かし、医療分野、建築分野等への波及が期待されています。遠隔医療も提唱されて久しいですが、本当にリアルな映像がその実現を後押しするのではないのでしょうか。

ケーブルテレビの面白さ

また、高度化の一つにケーブル・プラットフォームの実現があります。地元でケーブルテレビがある方もおられると思いますが、実は国民の2人に1人はケーブルテレビで放送を見ている。ケーブルテレビは、放送サービスだけでなく、インターネットサービス

も提供しながら普及してきました。昨今、国内外での競争が激化しており、今後の発展に向け、共同での新サービス提供や設備共用による効率化に取り組む必要があります。そのための共通基盤としてプラットフォーム構築に取り組んでいます。

情報通信技術(ICT)利活用の面でも、ケーブルテレビは貴重なツールとして地域に根ざしています。自治体出資の事業者も多く、地域行政情報の提供も可能です。お年寄りでもテレビは簡単に操作できるので、一番身近なネットワークへの窓口として、今後はお年寄りの見守りサービスや、買い物支援など様々な活用も期待されます。

ICTで誰でも暮らしやすい世の中に

これまで私は総務省のキャリアパスの中で、放送分野やICT利活用に携わってきました。ICTは無数の可能性を提供するツールとして、今やどのような産業にも不可欠な基盤です。我が国は、超高齢少子化社会、資源問題、環境問題等、様々な課題を抱える課題先進国でもあります。それらの課題は世界のどの国も今後直面していくものであり、我が国がICTの利活用により、課題解決をモデルとして体現していくことで、世界各国をリードしていくことができると思います。

人口が減少していく中、ICTによる生産能力向上が不可欠です。例えば農村でもICTを活用して生産過程を見える化することにより、一人の農業者が持っていたノウハウを共用・伝承することができ、またシステム化することにより作業量を減らし後継者不足を補うことも可能です。

テレワーク(インターネットを利用して在宅勤務を行う制度)もICTを活用した働き方の改善であり、単に育児中の女性のみならず、

誰もが効率的な仕事をすることを可能とし、生産力向上に寄与します。

このようなICTの振興政策に携わることで、未来を創造していくことの楽しさを経験し、それをまた次の業務に活かしていくことができます。ICTは様々な産業分野に連なるものなので、多様な活躍ができ、非常に濃密な職場です。総務省で働くことで、自分の子供達の未来のため、世界に冠たる輝ける社会を創造する一翼を担っていると実感しています。

子供と仕事と

総務省には、仕事も育児もばっちりこなされている先輩方がたくさんいます。私も二人の子供の育児と仕事で日々奮闘中です。とても両立しているとは恥ずかしくて言えませんが、職場の方々の温かいご配慮と家族の毎日の支え、とても働きやすい総務省の環境に本当に感謝しています。

子供と仕事と一緒に過ごす毎日は本当に刺激的でとても楽しいです。是非皆さんも総務省で楽しく仕事をしましょう！



子どもとリフレッシュ